

第4回ワークショップ

各グループ

- ・議論を深める(60分)
- ・次回のワークショップの内容を決める(10分)

全体

- ・本日のまとめと報告(5分)

グループ①

「地域資源を生かした地域づくり」

（実現するためには何が必要か？まずは委員で）

●どんなツールを使って、どのような内容を発信するか？

- ・市公式HP等は、運用上の規定や内容・要領等に制限があり、自由度が少ない…。



まずは…、委員の皆さんが考える「行ってみたいこくふ」、「紹介したいこくふ」の情報を、こんな風に入手できれば嬉しい！と思うものについて自由に話し合ってみましょう！

グループ②

国府町民の情報のDX化(まずは委員で)

目的: 1回の会議では時間的制約があり議論を煮詰めるのが難しい
会議終了後から次の会議までの間に、議論の熱量が下がってしまう
会議終了後に思いついたことや気になることを気軽につぶやき、共有することで議論が続いている状態をキープできたらいい



できることが多い反面、覚えるのが大変、使いづらいという声も多い(実際に使っている人たちの口コミ)。
新しいツールはとっかかりにくい、管理者もどう運用していけばいいか大変??
もっと皆がとっつきやすく、使いやすいツールはないだろうか..

こんなものもあります。





主な機能



Lineの使用感を踏襲
直感的に操作可能
無料プランでは最小限の機能



主な機能



国内利用者No.1
シンプルな機能と分かりやすい操作性
無料プランだと40日以内に投稿されたもののみ閲覧可能



主な機能

プライベートグループを作成
・記事を投稿
・投稿された記事を共有
・コメントを投稿、コメントに返信

すべて無料
投稿の際は公開範囲に注意！

ちなみに、、、市が公式に導入するにはハードルが！

クラウドサービスを利用する場合は事前に規程の作成が必要(選定に係る運用、利用に係る運用など)
規定を定めた上で内部関係各課意思決定(企画推進部長決裁)
機密性も考慮し投稿内容にも制限あり